

# 2022 年度入試結果総評

## —鹿児島県—

令和4年度の鹿児島県公立高校最終出願者数は、全日制と定時制の学力検査定員 11,260 人(推薦、帰国子女枠除く)に対し、9,187 人が出願しました。平均倍率は 0.82 倍で、昨年度の 0.81 倍よりわずかに上昇しましたが、12 年連続で定員を割り込みました。募集定員は昨年 117 人減らし、今年は 7 人増やしての計 11,928 人となりましたが、県全体で見ると少子化の影響が大きいのが現状です。学区別に見ると鹿児島学区が高く 1.04 倍。ほかの6学区はすべて 1 倍を割っており、鹿児島学区を含み低倍率となっています。

しかし、鹿児島学区の高校別で見ると、鶴丸高校 1.45 倍(前年 1.23 倍)、甲南高校 1.33 倍(前年 1.48 倍)、鹿児島中央高校 1.44 倍(前年 1.46 倍)と、トップ3 校では鶴丸高校が昨年より倍率が上昇し、例年通り、甲南高校・鹿児島中央高校も高い倍率となりました。

### 【学区別 倍率】

鹿児島	南薩	北薩	始良・伊佐	大隅	熊毛	大島	県全体
1.04	0.71	0.68	0.79	0.69	0.56	0.64	0.82

### 【主な公立高校(学科) 出願者数と倍率の推移】

学校名	学科 コース	2019年度 平成31年度・令和元年度			2020年度 令和2年度			2021年度 令和3年度			2022年度 令和4年度		
		一般 定員	出願 者数	倍率	一般 定員	出願 者数	倍率	一般 定員	出願 者数	倍率	一般 定員	出願 者数	倍率
鶴丸	普通	287	341	1.19	297	398	1.34	298	367	1.23	298	431	1.45
甲南	普通	288	417	1.45	294	372	1.27	292	432	1.48	289	385	1.33
鹿児島中央	普通	288	470	1.63	289	443	1.53	299	438	1.46	290	418	1.44
武岡台	普通	228	283	1.24	232	260	1.12	227	303	1.33	231	308	1.33
	情報 科学	76	102	1.34	69	91	1.32	78	86	1.10	75	111	1.48
松陽	普通	205	242	1.18	218	234	1.07	221	202	0.91	213	253	1.19
鹿児島南	普通	149	177	1.19	149	179	1.20	150	184	1.23	150	178	1.19
	商業	64	77	1.20	66	89	1.35	71	83	1.17	71	106	1.49
	情報 処理	33	37	1.12	34	38	1.12	37	50	1.35	33	45	1.36
鹿児島玉龍	普通	113	165	1.46	111	163	1.47	108	158	1.46	113	154	1.36

※一般定員は、募集定員から推薦入試の合格者数をひいた実質の定員数をあらわします。

上記の倍率の推移にみられるように、鹿児島トップ3 高(鶴丸・甲南・中央)を中心とする主な公立高校普通科の実際の倍率は、他県の公立高と比べても高く、鹿児島県下の学区別倍率と大きく異なり、鹿児島地区の公立高校普通科は狭き門といえます。この高倍率を認識して、公立高校入試に対し、早いうちから対策をうっておくことが大切です。

毎年、鹿児島県教育委員会が公立高校の全受検者の得点を集計し、全受検者の平均点を発表しています。各教科 90 点満点で、中学履修单元だけでなく小学レベルの学力で得点できる「目安点」が各教科 18 点ずつ総得点 450 点中の 90 点分含まれています。過去の全受検者の平均点をまとめたものが、下記の表です。

学習指導要領の改訂に伴い入試問題の難易度は大きく変化してきました。H31 年度まで難化が進んできましたが、近年は難易度が下がり平均点が上昇してきました。今年度は、5 科目合計の平均点が **243.5 点** となっていますが、数学・英語の平均点が低くなりそれにより大きな差となりました。

**鹿児島県 公立高校入試 平均点推移 (各 90 点、計 450 点満点)**

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
国語	52.9	42.1	45.9	47.3	50.5	49.1	44.7	55.1	50.4	<b>57.8</b>
数学	37.7	38.9	36.6	41.4	40.7	45.2	38.2	42.3	47.3	<b>39.0</b>
社会	48.7	53.9	47.7	49.3	51.3	49.6	45.8	48.4	51.2	<b>53.1</b>
理科	39.7	44.5	44.5	49.8	43.6	50.6	46.5	43.0	47.5	<b>53.9</b>
英語	49.3	53.6	54.6	50.9	52.4	44.0	46.2	47.5	52.1	<b>39.6</b>
合計	<b>228.2</b>	<b>233.0</b>	<b>229.3</b>	<b>238.7</b>	<b>238.4</b>	<b>238.6</b>	<b>221.4</b>	<b>236.2</b>	<b>248.5</b>	<b>243.5</b>

下の表のように、以前と比べて鹿児島県下の全受験生の総得点 100 点未満の割合 (2.95%) も大きく改善し、今年度の入試で総得点だけ見ると受験者間での得点差が小さくなっています。しかし、教科間での平均点の開きを考えると数学・英語に苦手科目を抱えたままでは今後不利になる可能性があり、苦手科目の克服も合否のカギとなりそうです。

また、下の資料にも見られるように、「論述問題」「記述問題」の割合も高くなっており、「会話型の問題」「文章記述問題」「公式の証明」などに対応するため、「問題文や資料を読み取る⇒考える⇒自分の言葉で表現する」「計算過程を文章で説明する」などの練習が必要不可欠です。

中3生は以上のことを踏まえて、鹿児島県入試の過去問だけでなく、他県の公立高入試問題や入試直前期に入試本番と同様の形式の模擬試験で練習を多く積んでおくことが必要です。

**【鹿児島県 公立高校入試 受験者数 (400 点以上・360 点以上・100 点未満の割合) 推移】**

年度	平均点	受験者数	400 点以上の割合	360 点以上の割合	100 点未満の割合
R4	243.5	8873 名	0.97%	8.50%	2.95%
R3	248.5	8798 名	1.39%	11.10%	4.20%
R2	236.2	9194 名	0.38%	6.19%	3.68%
H31	221.4	9774 名	0.04%	3.56%	5.64%
H30	238.6	9810 名	0.87%	8.45%	5.01%

**【鹿児島県 公立高校入試 記述問題の割合】 (令和 4 年度 90 点満点中)**

	国語	数学	社会	理科	英語
記述・作図 配点	33 点	16 点	21 点	12 点	36 点
割合	37%	18%	23%	27%	40%